

◆「尾花沢市教育等の振興に関する大綱」改正のポイント

旧

新

基本目標

尾花沢の未来をひらく いのち輝く
人間の育成

【変更の方向性】

- 個人としての成長（人間）から、社会や未来に貢献する主体（人材）への成長を目指します。

尾花沢のしあわせな未来を担う 人材の育成

基本的な方針

1 地域の特性を楽しみ ふるさとを愛する「おばねっ子」を育てる教育の推進

- 知・徳・体がバランスよく調和し、人間力に満ちた児童生徒を育むとともに、尾花沢に対する理解を深め、ふるさと愛を育む教育を推進する。環境づくりを推進する。

【変更の方向性】

- 単に地域を楽しむだけでなく、発達段階に応じて郷土への理解を深めることで、「おばねっ子」としての誇りと愛着をより主体的に育むことを目指します。



1 地域の特性に関心を持ち ふるさとを愛する「おばねっ子」を育てる教育の推進

- 学校・家庭・地域が連携し、知・徳・体の調和と人間力（※1）に満ちた子供の育成を図るとともに、尾花沢に対する理解を深め、ふるさと愛を育む教育を推進する。

2 夢と志を持ち 可能性に挑戦し続ける力を育む 確かな教育の推進

- 学校・家庭・地域が連携し、感性を磨き、豊かな想像力と思いやりの心を育み、グローバル化した社会の中にあっても、自己実現の達成をめざすため、自他の「いのち」を大切にし、互いに協力し合える教育を推進する。

【変更の方向性】

- 基礎学力の定着はもちろんのこと、生徒指導の実践上の視点（※2）を活かし、子供たちが自分の夢に向かって生き生きと自己実現に挑戦できる環境を目指します。



2 夢と志を持ち 可能性に挑戦し続ける力を育む 確かな教育の推進

- 感性を磨き、豊かな想像力と思いやりの心を育み、グローバル化した社会の中にあっても、自己実現の達成をめざすため、自他の「しあわせ」を大切にし、互いに協力し合える教育を推進する。

3 これからの時代を生き抜く力を育む 多様な教育の推進

- 多様な学習活動を保障する教育環境を整備し、時代のニーズに対応していくことで、児童・生徒、保護者・地域から期待され信頼される学校づくりを推進する。

【変更の方向性】

- 少子化や学校統合という変化の中で、誰一人取り残さない多様な学びの保障と、地域全体で子供を支える体制の質的向上を引き続き図ります。



3 これからの時代を逞しく生き抜く力を育む 多様な教育の推進

- 多様な学習活動を保障する教育環境を整備し、時代のニーズに対応していくことで、児童・生徒、保護者・地域から期待され信頼される学校づくりを推進する。

4 生涯にわたる学習環境の整備と活力ある地域づくりの推進

- 人生100年時代を見据え、誰もが生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができるよう、市民や地域のニーズに応じた学習の機会を提供し、市民が生涯にわたって主体的に学び続けられる環境づくりを推進する。

【変更の方向性】

- 今回の大綱では、生涯学習（※3）を通して「ウェルビーイング」（※4）を実感できるような学習機会を充実し、その成果を地域活動に還元する仕組みづくりを目指します。



4 生涯学習、地域づくりに活かす事が出来る学習環境の整備と推進

- 人生100年時代を見据え、市民一人ひとりが学習を通じて「ウェルビーイング」を実感し、その成果を地域活動に還元できる生涯学習環境を整備、推進する。

5 豊かな自然環境を活かし、体験活動やボランティア活動を通じた青少年健全育成の推進

- 豊かな自然や特色ある地域活動を生かし、自然体験活動やボランティア活動を通して、次代を担う青少年の健全育成を推進する。

【変更の方向性】

- 活動を通じた交流から自他の敬愛と協力を学び、前向きに生きる心と体を育成することを明確に位置付けました。



5 豊かな自然環境のもと体験活動を通じた青少年健全育成の推進

- 自然体験や、特色のある地域活動、ボランティア活動を通じ、人々とのふれあいにより、互いを尊重し、前向きに生きる心豊かな青少年を育成する。

6 心の安らぎや感動、心身の健康増進につながる芸術・文化活動とスポーツ活動の促進

○誰もが芸術文化とスポーツに触れ、体験することで、心の安らぎや感動、心身の健康増進を享受できる環境づくりを進めながら、健康で明るい地域づくりの実現に向けた取組みを促進する。



【変更の方向性】

- 「活力と生きがいを生む」という積極的な表現となっており、「ウェルビーイング」の要素として、学校・地域のつながり、協調要素が重視されていることから、各種活動における交流を通して、他者と学びあいにより、人生を生きる活力と、生きがいを生みだすことを目指します。

6 活力と生きがいを生む芸術・文化、スポーツ活動の推進

- 誰もが芸術・文化、スポーツに親しみ「ウェルビーイング」を実感できる環境づくりを推進する。市民の主体的な活動と交流を通して、心身の健康と地域の活力を創出する。

7 文化財の調査・保存を図るとともに、積極的な活用促進

○国指定史跡「延沢銀山遺跡」、日本遺産に認定された「芭蕉・清風歴史資料館」や雅楽等をはじめとする文化財の調査・保存とともに、文化遺産を活用した交流活動を積極的に推進する。



【変更の方向性】

- 「文化財を未来につなぐ継承体制の強化」として、新たに設けた尾花沢市文化財キーパー(※5)により、文化財継承に携わる専門知識者の確保と人材の育成を目指します。



7 文化財を未来につなぐ継承体制の強化と積極的な活用促進

- 尾花沢の歴史と文化の証である文化財を適切に調査・保存し、郷土への愛着を深める教育資源として活用するとともに、文化遺産を活用した交流活動を積極的に推進する。

「尾花沢市教育等の振興に関する大綱」用語解説

(※1) 人間力(にんげんりょく)

社会の中で自立し、他者と良好な関係を築きながら生きていくための総合的な力のこと。具体的には、相手の意図を汲み取り自分の考えを伝えるコミュニケーション能力や、自らの感情や行動をコントロールし目標に向かって粘り強く取り組む自己管理能力(セルフマネジメント能力)などが含まれます。

(※2) 生徒指導の実践上の視点を活かす

「自己存在感の感受」「共感的な人間関係」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を意識した実践により、学習指導と生徒指導を一体化させた授業づくりや、児童・生徒の健全な発達を支援すること。これは2022年、文部科学省が約12年ぶりに改訂した生徒指導の基本的なガイドラインである「生徒指導提要」に示されています。

(※3) 生涯学習(じょうがいがくしゅう)

学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ、ボランティアなど、人生のあらゆる段階において行われる学習のこと。個人の充実だけでなく、学んだことを社会に活かす活動も含まれます。

(※4) ウェルビーイング(Well-being)

身体的、精神的、そして社会的に満たされた「幸福で良好な状態」を指す概念。単に「病気ではない」ということだけでなく、自分らしく生き生きと、社会の中で居場所や役割を持って生活できているかという実感を重視します。国の教育振興計画では、日本社会に根差したウェルビーイングとして社会や組織の一員として貢献したことで得られる協調的な幸福と、成功や目標達成などで得られる獲得的な幸福のバランスが重視されております。

(※5) 文化財キーパー

尾花沢市の文化財の保存や活用を補助するために登録される協力者。資料館の業務や文化財の整理、普及活動等を通して、地域の宝を次世代へ継承する役割を担います。

(大綱内)ICT教育(アイシーティーきょういく)

パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術(Information and Communication Technology)を教育現場で活用すること。情報の検索や整理だけでなく、デジタルツールを用いた表現活動や、場所を選ばない遠隔学習なども含まれます。

(大綱内)SDGs(エスディージーズ)

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2030年までに貧困、格差、気候変動などの地球規模の課題を解決し、誰もが取り残されない持続可能な世界を作るために掲げられた17の国際目標のこと。

(大綱内)自尊感情(じそんかんじょう)

「自分には価値がある」「自分は大切な存在である」と、ありのままの自分を肯定的に受け入れる感情のこと。自己肯定感とも呼ばれ、困難に直面した際の回復力(レジリエンス)や、他者を尊重する姿勢の基礎となります。